

事業番号	13 01 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	水道事業(用水供給事業)	部局	企業局	課・室	水道事業課
		実施期間	S49 ~	E-mail	kigvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興	4-1 県土の強靱化	4-5 地球環境への貢献		

1 現状と課題

目指す姿	【目指す姿】<長野県公営企業経営戦略>(平成28年2月策定、令和2年度改定) 「将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化」 ・お客様に安全・安心な水道水を安定的にお届けできるよう、アセットマネジメント(長期的収支予測に基づく資産管理)を活用して施設設備の計画的な更新等を実施 ・お客様サービスの充実に向けて、関係市町村等との連携を強化するとともに、地域における官民連携を推進し、顧客満足度を向上 ・近年頻発する大規模災害等を踏まえ、基幹管路の耐震化を前倒して実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化 ・知事部局や市町村等と連携して設立した「長野県水道事業広域連携推進協議会」等において、広域化・広域連携等の取組を推進	
これまでの取組	・施設設備の耐震化、老朽化対策の推進 ・「応急給水ポイント」の整備 など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題 ・令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、水道事業全体の投資計画を定め、必要な財源を確保する必要がある。 ・水道法改正を踏まえ、水道の基盤強化を図るため、広域連携の推進等を図っていく必要がある。	今後の方向性 ・供給単価の大幅な上昇を抑制するため、企業債を活用し、計画的に建設改良工事を実施しながら、将来の大型投資に必要な財源を確保していく。 ・令和3年3月に改定した「長野県公営企業経営戦略」の着実な推進を図るほか、「長野県水道事業広域連携推進協議会」等を通じて県内市町村等と連携し、持続可能な経営に向けた広域化・広域連携策や今後の水道のあり方等について引き続き検討を進めていく。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 未来への投資 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹施設耐震化(本山浄水場洗浄水槽耐震化工事等/基幹施設の耐震化目標:令和6年度100%) ・基幹管路耐震化(耐震化完了令和6年度→令和5年度)の前倒し ・老朽化対策の計画的な推進 ・片平取水場の取水機能強化を図るための詳細検討 ✓ リスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・基幹施設耐震化・基幹管路耐震化の前倒し・老朽化対策の計画的な推進(再掲) ・片平取水場の取水機能強化を図るための詳細検討(再掲) ✓ 地域への貢献・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・改正水道法の趣旨を踏まえ、関係市町村等との広域連携に向けた取組を推進
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】管路地図情報システムのモバイル化

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	経常収支比率	%	124.9	↓	120.6	↓	104.1	106.2	前年度繰越	241,607	645,984	要求 予算案	2,297,149
2	損益	千円	275,905	↓	239,044	↓	53,926(予算)	27,050	当初予算	2,306,761	2,339,709	要求 予算案	2,297,149
3	基幹施設(本山浄水場)の耐震化進捗率	%	49.4	↑	49.4	↑	50.5	60.2	補正予算	18,838	0	要求 予算案	0
4	管路の耐震適合率	%	87.8	↑	90.1	↑	92.0	96.7	合計(A)	2,567,206	2,985,693	要求 予算案	0
5									うち一般財源	0	0	要求 予算案	
									決算額(B)	1,804,923			
									職員数(人)	13.0	13.0		
設定理由	成果指標	「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定、令和2年度改定)に基づく指標 1・2. 財政計画に基づき経常収支比率100%以上(経常収入と経常費用の差額(損益)がプラス)を維持し利益を確保 3. 投資計画に基づく本山浄水場(取水口、沈砂池、ろ過池、浄水池、洗浄水槽等)の耐震化の推進(R6に全体の耐震化適合率100%を目標) 4. 投資計画に基づく管路の耐震化の推進											
	目標値	1. 経常費用を経常収入で賄えているかどうかを示す指標であり、一般的に良いとされている水準(100%以上)を目標とする 2. 1に関連し、純利益が生じることを目標とする 3・4. 投資計画に基づく当該年度の見込み数値を目標とする(長期目標…3:R6浄水場全施設完了 4:R5完了)											